



2018年4月11日

各 位

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号
三菱UFJリース株式会社
取締役社長 柳井隆博
(コード番号 8593 東証・名証第1部)
お問合せ先
コーポレートコミュニケーション部長 楠 浩一
TEL 03-6865-3002

三菱UFJリース

リース会社初となる国内公募形式のグリーンボンド発行に関するお知らせ

三菱UFJリース株式会社は、リース会社として初めて国内公募形式による第1回グリーンボンド（国内無担保普通社債）を発行することと致しましたので、お知らせ致します。

グリーンボンドとは、社債発行代わり金の使途を、再生可能エネルギー事業などの地球環境への貢献が期待されるプロジェクトに限定する普通社債です。これまで欧州を中心に発行されていましたが、近年はアジアでも注目度が高まっており、日本国内においてもグリーンボンドを起債する発行体が増加傾向にあります。

今般当社が発行するグリーンボンドにより調達された資金は、当社の取り組む太陽光発電向け融資事業に充当することを予定しております。なお、グリーンボンドの適格性については第三者認定機関である Sustainalytics 社よりオピニオン^{※1}を取得し、国際資本市場協会（ICMA）が公表する「グリーンボンド原則（GBP）^{※2}」の基準を満たす発行に該当することを確認しております。

当社は、環境・エネルギー事業を中期経営計画“**Breakthrough for the Next Decade**～今を超え、新たな10年へ～”における重点産業分野の一つに位置付け、環境負荷の少ない持続可能な社会の実現に向けてさまざまな活動に取り組んでいます。今般のグリーンボンド発行により、資金調達手段の多様化を進めると共に、地球温暖化をはじめとした環境課題の解決に資する設備投資を引き続きサポートして参ります。

※1 オピニオンの詳細は Sustainalytics 社のホームページをご覧ください。

<原文・英語> https://www.sustainalytics.com/wp-content/uploads/2018/03/Green-Bond-Framework-and-Opinion_Mitsubishi-UFJ-Lease-and-Finance_Final.pdf

<和訳> https://www.sustainalytics.com/wp-content/uploads/2018/04/Green-Bond-Framework-and-Opinion_Mitsubishi-UFJ-Lease-and-Finance_Final_Japanese.pdf

※2 グリーンボンド原則の詳細は ICMA が発行するガイドラインをご覧ください。

<原文・英語> <https://www.icmagroup.org/green-social-and-sustainability-bonds/green-bond-principles-gbp/>

<和訳> https://www.icmagroup.org/assets/documents/Regulatory/Green-Bonds/Translations/Japanese-GBP_2017-06.pdf

記

1. 社債の総額	金100億円
2. 各社債の金額	1億円
3. 社債等振替法の適用	本社債は社債、株式等の振替に関する法律（以下「社債等振替法」という。）の規定の適用を受けるものとし、社債等振替法第67条第1項の規定にもとづき本社債の社債券は発行しない。
4. 利率	年0.180%
5. 払込金額	額面100円につき金100円
6. 償還金額	額面100円につき金100円
7. 償還の方法及び期限	満期一括償還 平成35年4月17日（5年債）
8. 利払日	4月17日および10月17日 （平成30年10月17日が第1回利払日）
9. 募集期間	平成30年4月11日
10. 払込期日	平成30年4月17日
11. 募集方法	一般募集
12. 担保	本社債には担保および保証は付されておらず、また本社債のために特に留保されている資産はない。
13. 引受会社	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
14. 申込取扱場所	引受会社の本店および国内各支店
15. 財務代理人	株式会社三菱UFJ銀行
16. 発行代理人及び支払代理人	株式会社三菱UFJ銀行
17. 振替機関	株式会社証券保管振替機構
18. 取得格付	AA-：株式会社日本格付研究所 A+：株式会社格付投資情報センター

以上